

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

安八町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県安八郡安八町

3 地域再生計画の区域

岐阜県安八郡安八町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、2010 年の 15,271 人をピークに、それ以降は、減少傾向となっている。2020 年には 14,355 人と 10 年間で 900 人以上減少している。国立社会保障・人口問題研究所によると、2030 年には総人口が 12,760 人となる見込みである。

年齢区分別の人口比率をみると、0～14 歳（年少人口）は 1995 年の 16.7%から 2020 年には 13.1%、15～64 歳（生産年齢人口）は 1995 年の 70.8%から 2020 年には 58.1%と減少している一方、65 歳以上（高齢者人口）は 1995 年の 12.5%から 2020 年には 28.8%と増加している。

世帯数及び 1 世帯あたり人員の推移をみると、人口が減少している中、世帯数は 1995 年の 4,331 世帯から 2020 年には 5,013 世帯と増加しているが、1 世帯あたり人員は 1995 年の 3.5 人/世帯から 2020 年には 2.9 人/世帯と減少し、3 人を下回っている。

社会動態（転入・転出による増減）では 2012 年度より転入者を転出者が上回る社会減が続き、2015 年度には社会増へと転じるも、2017 年度以降は増減を繰り返し、2021 年度には 72 人の社会減となっている。

自然動態（出生・死亡による増減）では死亡者が出生者を上回る自然減が続き、2021 年度には 79 人の自然減となっている。

本町の流入流出人口は、流入人口 3,617 人に対し流出人口が 5,322 人と、流出人口が 1,705 人多くなっている。流入元は、大垣市が 1,030 人で最も多く、次いで羽

島市（468 人）、県の中心地である岐阜市（343 人）となっている。県外では一宮市（104 人）が多くなっている。流出先は、流入先と同様に大垣市が 1,663 人と最も多く、次いで岐阜市（938 人）、羽島市（440 人）となっている。県外では名古屋市（387 人）が多くなっている。

日本の総人口が減少局面に入り、高齢者の割合が年々増加している中、本町でも、人口は減少しており、また、少子高齢化も急速に進行している。

町民アンケート調査結果をみると、人口減少対策に有効な施策としては、「子育て環境の充実」が 55.6%、「雇用の確保や就労支援」が 47.4%で上位項目となっていることから、若い世代の定住の場としてのまちづくりや経済基盤の強化に向けた取組を推進することが必要である。

本町においては、人口減少が進行する中、社会動態（転入・転出による増減）では 10 代、20 代後半の若年層を中心に転出傾向が顕著となっており、将来的な出生数や将来人口の減少につながる一因になっている。将来にわたって活力ある地域社会を構築していくためにも、合計特殊出生率の向上と社会減の抑止に向けた取組を推進していくことが重要である。

本町は、これまでも、自然災害など幾多の困難を先人から受け継がれている英知と創意工夫によって乗り越えてきた。

近年直面している、人口減少、少子高齢化、企業の撤退、施設の老朽化などの困難に対しても、これまで培ってきた知恵と経験をもとに、恵まれた立地特性や自然環境、歴史・文化などの地域資源を最大限に活かしながらまちづくりを進めていくことが必要である。まちづくりの主体はこの地域に住むすべての人びとである。性別や年齢、国籍などを問わず誰もが意欲を持って、自らの力を発揮できる、人にやさしいまちをつくることが大切である。

このため、町民と行政が協働し、町民の多様なアイデアを活かすことができる仕組みを構築するとともに、一人ひとりのさまざまな可能性を広げ、人とのつながりが実感できる社会を目指す。

本町では、知恵と経験から培われた【強靱性】、新たな時代に即応する【柔軟性】、そしてこの強靱かつ柔軟性のあるまちを実現するための【8つの力】（団結力、持続力、創造力、推進力、魅力、応用力、知力、底力）をまちづくりのキーワードとし、人口ビジョンで推計した将来展望人口を達成すべく、本計画における重点かつ、

基本目標横断型の施策を「重点プロジェクト」として位置づける。

重点プロジェクト

- 1 【ひと】人の流れ・人を育てる～町民の郷土愛と協働力を高める～
- 2 【しごと】しごとを育てる～地域産業力向上と新規企業誘致の両立～
- 3 【まち】地域を育てる～すべての町民がいきいきと暮らす～

本計画では、この3つの重点プロジェクトのもと、国の総合戦略における施策分野を踏まえつつ、以下の3つの基本目標を設定し、取組を推進する。

- ・基本目標1 健やかな成長と学びを支える
- ・基本目標2 魅力を高め経済成長を促す
- ・基本目標3 安心・安全なまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	0.96%	1.71%	基本目標1
ア	福祉ボランティア登録者数	201人	250人	基本目標1
ア	健康寿命（男／女）	80.9 / 84.7歳	80.0 / 85.0歳	基本目標1
イ	新規誘致企業数 (令和3年度からの累計)	2件	5件	基本目標2
イ	町内で働く人数	7,195人	7,500人	基本目標2
イ	集落営農組織数	5組織	6組織	基本目標2
ウ	住宅取得助成にかかる移住 ・定住人口	120人	140人	基本目標3
ウ	市街化区域（住居系）の開 発面積	63.9ha	64.5ha	基本目標3
ウ	空家バンク※登録件数	0件	10件	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

安八町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業

ア 健やかな成長と学びを支える事業

イ 魅力高め経済成長を促す事業

ウ 安心・安全なまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 健やかな成長と学びを支える事業

子どもや高齢者、障がい者など、誰もが元気にいきいきと暮らすことができる地域社会を築くとともに、健康づくりに取り組み、家族や地域の相互扶助力を充実させ、支え合いによる地域福祉の充実を目指す事業

【具体的な事業】

- ・子育て支援の充実
- ・生涯学習の推進
- ・健康づくりの推進
- ・体育・スポーツの振興 等

イ 魅力高め経済成長を促す事業

DXの推進等による地域産業の活性化と、安八スマートICを核とした企業誘致や起業支援により、誰もが活躍できるしごとの場を創出する事業

【具体的な事業】

- ・企業誘致・事業者支援の推進
- ・農業の振興
- ・商業の振興と消費者生活の充実 等

ウ 安心・安全なまちをつくる事業

自然環境の豊かさと機能的な市街地を調和させることにより、町民だけでなく、移住希望者にも選ばれるよう、快適に住み続けられる生活環境の整備、移住・定住の促進につながる事業

【具体的な事業】

- ・ 計画的な土地利用の推進
- ・ 道路交通網の整備
- ・ 公共交通機関の整備
- ・ 住宅施策の推進 等

※ なお、詳細は「安八町まち・ひと・しごと創生総合戦略」および「安八町第六次総合計画」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1, 200, 000 千円（2025 年度～2027 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 6 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに安八町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで